

さあ、全国へ出て出よう!

式団体全国オルグ結 労葉 動千



日刊 動労千葉

81.4.27

No. 726

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五・六(公電)四三二二七二〇七

全国オルグ結団式 意気高く 行われる

4月25日13時、動力車会館において全支部の各級役員・活動家40余名を結集して**動労千葉全国オルグ結団式**が行われた。この全国オルグ結団式は、三月決戦闘争以降高まる全国からの要請に応える形で、ヤ10回支部代表者会議での「動労大改革及び財政基盤確立にむけた取り組み」の決定方針にもとづき、それを具体化するものとして開催されたものである。結団式は、なごやかなうちにも終始戦闘的気運がみなぎる中で進められた。参加者一人一人は、動労大改革・労農連帯推進のオルグナイザーとして飛躍をかけた全国にうって出る決意をうち固め、成功裡のうちを終了した。その後ビールを飲みかゆしつつ、出陣式を行った。

「動労千葉支援基金」運動を 全国化する

全国オルグ結団式は、最初に動労千葉教宣部製作の8mm記録映画『三月ジェット決戦ストライキ』を全員で観賞した。画面の二コマコマからじみ出る感動的な叫びを想起しつつ、水野本部執行委員の司会によって議事は進行された。

あいさつに立った奥村委員長は、「全国オルグ結団式は、動労千葉結成2年、三月ジェット決戦ストライキを貫徹した偉大な成果の表われである。全国鉄労労者はもとより、あらゆる階層の叩つ人々に新たな勝利への前進の確信を深めるために、動労千葉の叩いへの支援・連帯を全国に訴えよう。そのために全国オルグ結団は、動労大改革―日本労働運動の戦闘的再生の核になろう」と静かな口調のうち力をこめたあいさつを行った。

つづいて、動労千葉全国オルグ結団式についてと題して吉原教宣部長から**獲得目標と具体的方針**が提起された。その主な内容は、①全国オルグ結団の結成に至る経過。②オルグ結団の目的。③大量不当処分攻撃の狙い。④三月ジェット決戦ストライキに成功した意義とより拓いた地平。⑤処分粉砕「億円基金」運動―動労大改革へ、と報告された。

この提起をうけて、自らの課題として受けとめた各支部代表者は、自らの体験と確信にふまえて、次々と決意表明にたった。

全国オルグを全組合員が成し遂げる

●三月ジェット決戦ストと連動して叩つた報告を支部

独自のパンフレットに作製して、地域労組・諸団体に訴え、活動を実施していく。――(新小岩支部)

●初めの経験である全国オルグは、それなりの難かしさもあるが、解雇された四名の気持ちになって、自らの飛躍をかけて、うって出る。――(千葉運転区支部)

●本部役員が全国オルグを行ったと同じ成果を獲得するまで支部組合員はがんばる。――(蘇我支部)

●全国オルグは動労大改革を成し遂げる絶好のチャンスだ。断固として貫徹する。――(隣浦支部)

開始された全国、全職場の流動化、活性化に、今こそ大胆にうって出よう

●本部、支部一体となって全国オルグを取り組み、全組合員活動主体として日本列島を駆けめぐることこそ動労大改革実現するカギだ。――(成田支部)

●東洋大卒の革マルスパイ分子嶋田誠は、今大きく拓けつつある国労の仲間の支援カンパ運動の盛り上りに対して、国労の組合員に対して「動労千葉への支援・連帯活動をヤメ、と、必死に泣きついてくる。この卑劣な行為に国労組合員は怒り心頭に達して連日、嶋田誠に対して「処分された者を支援するのになぜ悪い」と糾弾する声が増大している。この声こそが労働者―労働組合のあたり前のものだ。動労大改革は現実化の段階に入った。――

(津田沼支部) 等々と語られた。

こうして全国オルグ結団式は圧倒的、成功をかちとり、いよいよ三月ジェット決戦ストライキの成果をひきだし、全国へ動労大改革―日本労働運動の戦闘的再生への具体的組織化へとうって出る体制を整えたのである。

粉砕せよ！ 攻撃を粉砕せよ！ 壊壊攻撃を粉砕せよ！ 組織破壊攻撃を粉砕せよ！ 組織破壊攻撃を粉砕せよ！